

続けると何かが見える

チャンスは自分の手でつかめ

東高卒業生 就職講話で後輩を激励



生徒の質問に答える卒業生＝金沢学院東高体育館

金沢学院東高の卒業生による就職講話は九月二十一日、体育館であり、四人が社会人としての心構えや仕事のやりがいなどについて話し、後輩たちを激励しました。

一 双貞治君（平成十一年度卒、金沢学院大学「ショセキ」）は「チャンスは待つのではなく、自分から行動してつかんでほしい」、寺谷八千代さん（十三年度卒、金沢学院短大）は「宝達志水町役場相見保育所」は体力をつけようとい始めた剣道を続けていることを紹介し、「続けていると何かが見えてくる。何事も投げ出さずに頑張つて」と激励しました。上田政明君（十一年度卒、

金沢学院大学「石川トヨベツト」は「営業は嫌なこと多いが、注文書に判子をもらった時にやりがいを感ずる」、また山崎由佳さん（十一年度卒、県立看護大「金沢医療センター」）は「正確な医療知識を得るために

日々勉強が続くが、患者から感謝された時、看護の仕事に就いて良かったと思ふ」と話しました。

演奏や仮装でにぎわう 東高学校祭

金沢学院東高の平成十七年度学校祭は九月八日と

九日、校内で行われ、文化部の発表や、ダンス、バンド演奏の披露などにぎわいました。

九日の仮装コンテストでは、二年生のクラスごとにアイデアを凝らした出し物を用意し、続々テレビから飛び出す「貞子」や愛らしいモリゾーとキッコロⅡ写真Ⅱが笑いを誘いました。

元気に「おはようございます」 東高在校生が朝のあいさつ運動



交通安全指導を行いながら、児童と朝の挨拶を交わす東高生＝犀川小学校前

金沢学院東高は九月十二日から十六日まで、グッドマナーキャンペーンの一環として、学校周辺で朝のあいさつ運動と交通安全指導を実施しました。

各クラスの公安委員が、東高玄関前、犀川小学校前と未保育園前の各交差点に立ち、横断時の交通安全指導を行いながら、園児、児童、生徒と大きな声で「おはようございます」と挨拶を交わしました。



教職員チーム67位 富山リレーマラソン



石田学長から卒業証書を受け取る卒業生Ⅱ短大会議室

半年遅れて門出の日 大学・短大5人に卒業証書

金沢学院大学、金沢学院短期大学の九月卒業式は九月三十日、短大第一会議室で行われ、単位不足などで卒業が半年遅れた五人の学生（短大二人、大学三人）に石田寛人学長から卒業証書が手渡されました。

石田学長は李白の漢詩の一節を添えて「社会においては、いろいろな人がそれ

金沢学院大学美術文化学部情報デザイン学科四年和田夏樹君の動画が、富山CGコンテストCG一般部門で奨励賞を受賞しました。

和田君に奨励賞



水井雅子教授が「子どもを育てる絵本解説 土曜大学で水井教授 金沢学院大学基礎教育機構の第五回土曜大学は九月十七日、3号館で行われ、

をテーマに講義しました。水井教授Ⅱ写真Ⅱは、皇太子殿下が朗読して話題になった米国のドロシー・ノルト氏の著作「子どもが育つ魔法の言葉」の「子は親の鏡」から「けなされて育つと、子どもは人をけなすようになる。愛してあげれば、子どもは人を愛すること」を学ぶなど、子育ての知恵を紹介しました。

発行・広報室